科目名: 国語3a		英文名: Japanese 3a	
担当者: 溝口博幸、岡本美智子			
工学科: 総合システム	学年: 3	コース: 全	開講期: 前期
科目種別: 必修	単位数: 1	学年クラス別	

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 「私という自分」 鷺沢萠 第 2週 「私という自分」 鷺沢萠 第 3週 「相棒」 内海隆一郎 第 4週 「相棒」 内海隆一郎 第 5週 「相棒」 内海隆一郎 第 6週 「短歌と俳句」大西民子・北原白秋 他 第 7週 「短歌と俳句」大西民子・北原白秋 他 第 8週 中間試験 第 9週 試験返却・解答 第10週 「空虚なコミュニケーション」 野口恵子 第11週 「空虚なコミュニケーション」 野口恵子 第12週 「ブータンの時間」 今枝由郎 第13週 「ブータンの時間」 今枝由郎 第14週 期末試験 第15週 試験返却・解答	■授業概要・方法等 近代以降の様々な文章を読むことを通し、思考力を深め、進んで表現し、人生を豊かにする態度の育成を行ないます。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (D-G1)日本漢字能力検定2級程度の常用漢字の読みや書く能力を持つ。 2. (D-G1)文章の組立て、語句の意味などを理解し、語彙を豊かにする。 3. (D-G1)様々な文章を読むことを通して、自分の考えを深めたり発展させたりする。 ことができるようになります。 ■教科書 『標準 現代文』 第一学習社 ■参考文献 教科書準拠の学習課題集、『常用漢字クリア』尚文出版 ■関連科目 特になし ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(50%)、小テスト(30%)、課題(20%)として評価します。 定期試験は中間・期末の2回。 方式: 記述式 最終成績: 定期考査成績の平均点とし、80点以上「優」, 60点以上～80点未満「良」, 50点以上～60点未満「可」, 50点未満「不可」とします。 ■教員所在場所 溝口:本館4階国際交流部、岡本美智子:2号館2階共通教育部教員室 ■授業評価アンケート実施方法 10月にアンケート用紙を配布します。 ■メールアドレス 溝口:mizo@ktc.ac.jp 岡本:mokamoto@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 溝口博幸:月12:15～13:00 岡本:火12:15～13:00

科目名: 国語3b		英文名: Japanese 3b	
担当者: 溝口博幸、岡本美智子			
工学科: 総合システム	学年: 3	コース: 全	開講期: 後期
科目種別: 必修	単位数: 1	学年クラス別	

授 業 計 画	授 業 概 要
第1週 「食と想像力」 辺見庸 第2週 「食と想像力」 辺見庸 第3週 「経験の教えについて」 森本哲郎 第4週 「経験の教えについて」 森本哲郎 第5週 「経験の教えについて」 森本哲郎 第6週 「折々のうた」 大岡信 第7週 「折々のうた」 大岡信 第8週 中間試験 第9週 試験返却・解答 第10週 「ユーモアと笑い」 阿刀田高 第11週 「ユーモアと笑い」 阿刀田高 第12週 「メディアに軽重はあるか」杉本卓 第13週 「メディアに軽重はあるか」杉本卓 第14週 期末試験 第15週 試験返却・解答	■授業概要・方法等 近代以降の様々な文章を読むことを通し、思考力を深め、進んで表現し、人生を豊かにする態度の育成を行ないます。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G1)論理的に考え、説得力を持って提示することが出来る書き方を理解する。 2. (E-G1)相手や目的に応じて題材を選び、効果的な表現を考えて書く。 ことができるようになります。 ■教科書 『標準 現代文』 第一学習社 ■参考文献 教科書準拠の学習課題集、『常用漢字クリア』尚文出版 ■関連科目 特になし ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(50%)、小テスト(30%)、課題(20%)として評価します。 定期試験は中間・期末の2回。 方式: 記述式 最終成績: 定期考査成績の平均点とします。 80点以上「優」, 60点以上～80点未満「良」, 50点以上～60点未満「可」, 50点未満「不可」とします。 ■教員所在場所 溝口:本館4階国際交流部、岡本美智子:2号館2階共通教育部教員室 ■授業評価アンケート実施方法 2月にアンケート用紙を配布します。 ■メールアドレス 溝口:mizo@ktc.ac.jp 岡本:mokamoto@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 溝口博幸:月12:15～13:00 岡本:火12:15～13:00

科目名: 英語3a		英文名: English 3a	
担当者: 竹内春樹 上田透 オルダネス・ジェームズ 中橋修 花巻昌子 福岡玲子			
工学科: 総合システム	学年: 3	コース: 全	開講期: 前期
科目種別: 必修	単位数: 2.5	習熟度別クラス編成	

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 Unit 0 Welcome to On the Move 第 2週 Unit 1 Meet My Colleague 第 3週 Unit 2 New Classes, New Teachers 第 4週 Unit 3 Thank God It's Friday 第 5週 Unit 4 The Best Way to Get There 第 6週 Unit 4 The Best Way to Get There 第 7週 Review Plus 1 第 8週 中間試験 第 9週 答案返却・解答 Unit 5 How Do You Like Living There? 第10週 Unit 6 A Good Place to Eat 第11週 Unit 7 A Lost Bag 第12週 Unit 8 A Room with a View 第13週 Unit 8 A Room with a View 第14週 期末試験 第15週 答案返却・解答	■授業概要・方法等 教科書に沿った授業展開をし、英語1、英語2で学んだ英語コミュニケーション能力の基礎をさらに発展させる活動を行います。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)英会話を聞いて、英語表現の意味を理解する。 2. (E-G2)教科書に出てくる英語表現を用いて、書き、話す。 3. (E-G2)外国の文化について理解を深める。 ことができるようになります。 ただし習熟度Cクラス(1～3)、A1,A2,A3クラス(1～2)を到達目標とします。 ■教科書 On the Move (Longman) ■参考文献 なし ■関連科目 英語1、英語2、英語4、英語特講、TOEICプラス、外国語文献購読 ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2回)、方式:記述式と選択式 定期考査成績:共通テスト30%、クラステスト50%、小テスト10%、課題10%で評価します。 最終成績:2回の定期考査成績の平均点とします。 80点以上「優」、60点以上～80点未満「良」、50点以上～60点未満「可」、50点未満「不可」 ■教員所在場所 竹内、花巻、福岡:2号館2階共通教育科、上田:本館1階学生部、ジェームズ:本館4階国際交流室、中橋:本館2階コミュニケーション室 ■授業評価アンケート実施方法 10月にアンケート用紙を配布します。 ■メールアドレス 竹内:takeuchi@ktc.ac.jp 上田:ueda@ktc.ac.jp ジェームズ:james@ktc.ac.jp 中橋:nakahasi@ktc.ac.jp 花巻:hanamaki@ktc.ac.jp 遠藤:endou@ktc.ac.jp 福岡:fukuoka@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 月曜日と木曜日の12時15分～12時55分

科目名: 英語3b		英文名: English 3b	
担当者: 竹内春樹 上田透 オルダネス・ジェームズ 中橋修 花巻昌子 福岡玲子			
工学科: 総合システム	学年: 3	コース: 全	開講期: 後期
科目種別: 必修	単位数: 2.5	習熟度別クラス編成	

授 業 計 画	授 業 概 要
第1週 Unit 9 A New Place to Live 第2週 Unit 10 A Busy Weekend! 第3週 Unit 11 Could I Leave a Message? 第4週 Unit 11 Could I Leave a Message? 第5週 Unit 12 Does It Hurt? 第6週 Unit 12 Does It Hurt? 第7週 Review Plus 3 第8週 中間試験 第9週 答案返却・解答 Unit 13 It's a Deal! 第10週 Unit 14 When Was It Built? 第11週 Unit 15 Making a Reservation 第12週 Unit 16 Going Home 第13週 Unit 16 Going Home 第14週 期末試験 第15週 答案返却・解答	■授業概要・方法等 教科書に沿った授業展開をし、英語1、英語2で学んだ英語コミュニケーション能力の基礎をさらに発展させる活動を行います。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)英会話を聞いて、英語表現の意味を理解する。 2. (E-G2)教科書に出てくる英語表現を用いて、書き、話す。 3. (E-G2)外国の文化について理解を深める。 ことができるようになります。 ただし習熟度Cクラス(1～3)、A1,A2,A3クラス(1～2)を到達目標とします。 ■教科書 On the Move (Longman) ■参考文献 なし ■関連科目 英語1、英語2、英語4、英語特講、TOEICプラス、外国語文献購読 ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2回)、方式:記述式と選択式 定期考査成績:共通テスト30%、クラステスト50%、小テスト10%、課題10%で評価します。 最終成績:2回の定期考査成績の平均点とします。 80点以上「優」、60点以上～80点未満「良」、50点以上～60点未満「可」、50点未満「不可」 ■教員所在場所 竹内、花巻、福岡:2号館2階共通教育科、上田:本館1階学生部、ジェームズ:本館4階国際交流室、中橋:本館2階コミュニケーション室 ■授業評価アンケート実施方法 2月にアンケート用紙を配布します。 ■メールアドレス 竹内:takeuchi@ktc.ac.jp 上田:ueda@ktc.ac.jp ジェームズ:james@ktc.ac.jp 中橋:nakahasi@ktc.ac.jp 花巻:hanamaki@ktc.ac.jp 遠藤:endou@ktc.ac.jp 福岡:fukuoka@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 月曜日と木曜日の12時15分～12時55分

科目名: 微分積分学Ⅱa		英文名: Differential and Integral Ⅱa	
担当者: 向井康恩 神田毅 竹林 聖央			
工学科: 総合システム	学年: 3	コース: 全コース	開講期: 前期
科目種別: 必修	単位数: 2.5	習熟度別クラス編成	

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 微分法の応用 平均値の定理 第 2週 微分法の応用 関数の増減と極値 第 3週 微分法の応用 関数の最大・最小 第 4週 微分法の応用 接線と法線・不定形の極限 第 5週 微分法の応用 高次導関数・曲線の凹凸 第 6週 微分法の応用 曲線の凹凸・媒介変数表示と微分法 第 7週 微分法の応用 媒介変数表示と微分法・速度と加速度 第 8週 中間試験 第 9週 答案返却・解答 積分法 定積分と不定積分 第10週 積分法 不定積分法(置換積分法、部分積分法) 第11週 積分法 不定積分法(部分積分法、分数関数・無理関数の積分) 第12週 積分法 不定積分法(分数関数・無理関数・三角関数の積分) 第13週 積分法 定積分の計算 第14週 期末試験 第15週 答案返却・解答	■授業概要・方法等 積分法について基本的概念とその内容について学びます。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)それぞれの語句の意味を理解する。 2. (A-G1)それぞれの基本的計算をする。 3. (A-G1)それぞれの基礎的な計算をする。 4. (A-G1)それぞれの簡単な応用問題を解く。 5. (A-G1)それぞれの高度な応用問題を解く。 ことができるようになります。 ※習熟度Cクラスは1～5,A1クラスは1～4、A2クラスは1～3、A3クラス1,2を達成目標とします。 ■教科書 新訂 微分積分学Ⅰ(大日本図書)、各担当者作成プリント ■参考文献 なし ■関連科目 物理、各専門科目 ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2回), 方式: 記述式 定期試験と課題点(レポート、ノート、授業中の態度)を総合して評価します。 Cクラス:定期試験90% 課題点10%、A1クラス:定期試験80% 課題点20% A2クラス定期試験70% 課題点30%、A3クラス:定期試験60% 課題点40% 最終成績:2回の定期考査成績の平均とします。 80点以上「優」, 60点以上～80点未満「良」, 50点以上～60点未満「可」, 50点未満「不可」 ■教員所在場所／メールアドレス／オフィスアワー 向井康恩:本館2階入試部／mukai@ktc.ac.jp／月曜日と木曜日 12:15～13:00 神田毅:図書館2階学習指導室/kanda@ktc.ac.jp/月曜日と火曜日12:25～12:55 竹林聖央:2号館2階共通教育科教員室／takebayashi@ktc.ac.jp／月曜日と木曜日12:15～13:00 ■授業評価アンケート実施方法 10月にアンケート用紙を配布します。

科目名: 微分積分学Ⅱb		英文名: Differential and Integral Ⅱb	
担当者: 向井康恩 神田毅 竹林 聖央			
工学科: 総合システム	学年: 3	コース: 全コース	開講期: 後期
科目種別: 必修	単位数: 2.5	習熟度別クラス編成	

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 定積分の計算(置換積分法、部分積分法) 第 2週 定積分の計算(部分積分法、分数関数・無理関数の積分) 第 3週 定積分の計算(分数関数・無理関数・三角関数の積分) 第 4週 積分法の応用 面積・曲線の長さ・体積(図形の面積、曲線の長さ) 第 5週 積分法の応用 面積・曲線の長さ・体積(立体の体積、回転体の面積) 第 6週 積分法の応用 いろいろな応用(媒介変数表示・極座標による図形) 第 7週 積分法の応用 いろいろな応用(変化率と積分、広義積分) 第 8週 中間試験 第 9週 答案返却・解答 関数の展開 関数の展開(多項式による近似(1)) 第10週 関数の展開 関数の展開(多項式による近似(2)) 第11週 関数の展開 関数の展開(数列の極限) 第12週 関数の展開 関数の展開(級数) 第13週 関数の展開 関数の展開(べき級数とマクローリン展開、オイラーの公式) 第14週 期末試験 第15週 答案返却・解答	■授業概要・方法等 前期での微分積分学Ⅱaで学んだ積分法の計算手法に基づいて、いろいろな応用について学ぶ。また、工学系において広く応用されている数列の極限や級数、べき級数についても学びます。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)それぞれの語句の意味を理解する。 2. (A-G1)それぞれの基本的計算をする。 3. (A-G1)それぞれの基礎的な計算をする。 4. (A-G1)それぞれの簡単な応用問題を解く。 5. (A-G1)それぞれの高度な応用問題を解く。 ことができるようになります。 ※習熟度Cクラスは1～5,A1クラスは1～4、A2クラスは1～3、A3クラス1,2を達成目標とします。 ■教科書 新訂 微分積分学Ⅰ、新訂 微分積分学Ⅱ(大日本図書)、プリント ■参考文献 なし ■関連科目 物理、各専門科目 ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2回), 方式: 記述式 定期試験と課題点(レポート、ノート、授業中の態度)を総合して評価します。 Cクラス:定期試験90% 課題点10%、A1クラス:定期試験80% 課題点20% A2クラス定期試験70% 課題点30%、A3クラス:定期試験60% 課題点40% 最終成績:2回の定期考査成績の平均とします。 80点以上「優」, 70点以上～80点未満「良」, 60点以上～70点未満「可」, 60点未満「不可」 ■教員所在場所／メールアドレス／オフィスアワー 向井康恩:本館2階入試部／mukai@ktc.ac.jp／月曜日と木曜日 12:15～13:00 神田毅:図書館2階学習指導室/kanda@ktc.ac.jp/月曜日と火曜日12:25～12:55 竹林聖央:2号館2階共通教育科教員室／takebayashi@ktc.ac.jp／月曜日と木曜日12:15～13:00 ■授業評価アンケート実施方法 2月にアンケート用紙を配布します。

科目名: 物理 3a		英文名: Physics 3a	
担当者: 今野理喜男 畑山伸訓			
工学科: 総合システム	学年: 3	コース: 全	開講期: 前期
科目種別: 必修	単位数: 1.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 波源と媒質, 波長・振動数と波の速さ, 横波と縦波 正弦波, 弦を伝わる横波 第 2週 重ね合わせの原理と波の独立性, 波の干渉 第 3週 反射による位相の変化, 定常波 第 4週 弦に生ずる定常波, 回折, ホイヘンスの原理 第 5週 反射の法則, 屈折の法則, 全反射 第 6週 ドップラー効果, 音の三要素, 音の速さ 第 7週 共鳴, うなり 第 8週 中間試験 第 9週 試験返し・光, 光速度, 反射と屈折 第10週 プリズムによる屈折, 光路長 第11週 2本のスリットによる回折と干渉, 薄膜による干渉 第12週 ニュートンリング, 偏光, 光のスペクトル 第13週 光学機器(レンズ、光ファイバー等) 第14週 期末試験 第15週 試験返し	■授業概要・方法等 技術者をめざす高専の学生を対象に、自然界に現れるさまざまな現象(波動・光・電磁気など)の法則性や考え方を学びます。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって 1. (A-G1)(D-G1)波動現象の中に法則性があることが実感できる。 2. (A-G1)(D-G1)波動に関する様々な法則の意味がある程度理解できる。 3. (A-G1)(D-G1)波動に関する例題、問などの基本的な問題を解くことができる。 4. (A-G1)(D-G1)波動現象の中にある物理法則が工業へ応用されることを実感できる。 ようになります。 ■教科書 「やさしく学べる 基礎物理」 基礎物理教育研究会編 森北出版 ￥2,200＋税 ■問題集 「リードα物理Ⅰ・Ⅱ」 数研出版 ￥905＋税 ■参考文献 「フォトサイエンス 物理図録」 数研出版 ￥752＋税 ■関連科目 数学 ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2回), 方式: 記述式 定期考査成績:定期試験100%で評価します。 最終成績:2回の定期試験を平均して評価します。 80点以上「優」, 60点以上～80点未満「良」, 50点以上～60点未満「可」, 50点未満「不可」 ■教員所在場所 今野:図書館 畑山:図書館2階学習指導室或は本館2階教務部 ■授業評価アンケート実施方法 10月にアンケート用紙を配布します。 ■メールアドレス 今野:r-konno@ktc.ac.jp 畑山:hatayama@tse.kutc.ac.jp ■オフィスアワー 今野(月曜日 9限目) 畑山(火曜日 9限目)

科目名: 物理 3b		英文名: Physics 3b	
担当者: 今野理喜男 畑山伸訓			
工学科: 総合システム	学年: 3	コース: 全	開講期: 後期
科目種別: 必修	単位数: 1.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 静電気力, 電荷, 静電誘導, クーロンの法則 第 2週 電界, 電気力線, ガウスの定理, 電位差, 等電位面 電界中の導体 第 3週 コンデンサー, 電気容量, コンデンサーの接続 静電エネルギー, 誘電体 第 4週 電流, オームの法則, 抵抗の接続 第 5週 電池の起電力と内部抵抗, キルヒホッフの法則 ジュール熱, 電力量と電力 第 6週 磁極の間に働く力, 磁場, 電流による磁場 第 7週 電流が磁場から受ける力, 磁化の強さと磁気モーメント 第 8週 中間試験 第 9週 試験返し・電磁誘導, 交流, 電磁波 第10週 電子の電荷と質量 第11週 粒子性と波動性 第12週 原子の構造, 原子核 第13週 放射能, 核エネルギー, 素粒子 第14週 期末試験 第15週 試験返し	■授業概要・方法等 技術者をめざす高専の学生を対象に、自然界に現れるさまざまな現象(波動・光・電磁気など)の法則性や考え方を学びます。 ■到達目標 受講者は、この授業を履修することによって 1. (A-G1)(D-G1)電気や磁気、物質の源である素粒子等に関して法則性があることが実感できる。 2. (A-G1)(D-G1)電磁気、原子、原子核等の物理法則の意味がある程度理解できる。 3. (A-G1)(D-G1)電気や磁気、物質の源である素粒子等に関する基本的な問題を解くことができる。 4. (A-G1)(D-G1)電磁気、原子、原子核等の物理法則が工業へ応用されることを実感できる。 ようになります。 ■教科書 「やさしく学べる 基礎物理」 基礎物理教育研究会編 森北出版 ￥2,200＋税 ■問題集 「リードα物理Ⅰ・Ⅱ」 数研出版 ￥905＋税 ■参考文献 「フォトサイエンス 物理図録」 数研出版 ￥752＋税 ■関連科目 数学 ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2回), 方式: 記述式 定期考査成績:定期試験100%で評価します。 最終成績:半期2回の定期試験を平均して評価します。 80点以上「優」, 60点以上～80点未満「良」, 50点以上～60点未満「可」, 50点未満「不可」 ■教員所在場所 今野:図書館 畑山:図書館2階学習指導室或は本館2階教務部 ■授業評価アンケート実施方法 2月にアンケート用紙を配布します。 ■メールアドレス 今野:r-konno@ktc.ac.jp 畑山:hatayama@tse.kutc.ac.jp ■オフィスアワー 今野(月曜日 9限目) 畑山(火曜日 9限目)

科目名: 倫理 a		英文名: Ethics a	
担当者: 重村博美			
工学科:総合システム	学年: 3	コース: 全	開講期: 前期
科目種別: 必修	単位数: 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 ガイダンス 第 2週 わたしたち自身をみつめる 第 3週 わたしたち自身をみつめる 第 4週 わたしたち自身をみつめる・わたしたちを取りまくもの 第 5週 わたくしたちを取りまくもの 第 6週 人とのかかわりを考える 第 7週 人とのかかわりを考える 第 8週 中間試験 第 9週 答案返却・解答 第10週 情報がつなぐもの 第11週 社会とのかかわりのなかで 第12週 社会とのかかわりのなかで・いのちの意味を考える 第13週 いのちの意味を考える・環境を考える 第14週 期末試験 第15週 答案返却・解答	■授業内容・方法など 自己や現代の倫理的課題を主体的に追求し、人間としてのあり方・生き方についての理解と思索を深め、生きる主体としての豊かな自己形成をはかることができるようになるため、先人の知恵を学びます。また、倫理観の欠如が叫ばれる現代社会において、人間の本質とは何かを考えていきます。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者はこの授業を履修することによって、 1.(B-G1)人間尊重の精神に基づいて、青年期における人間形成と人間としてのあり方・生き方について理解をする。 2.(B-G2)人間尊重の精神に基づいて、青年期における人間形成と人間としてのあり方・生き方について思索をする。 ことができるようになります。 ■教科書『新倫理－自己をみつめて－』(教育出版) ■参考文献 なし ■関連科目 地理・日本史・政治経済・世界史 ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2回), 方式:記述式 定期考査成績:定期試験(100%)で評価します。 最終成績:2回の定期考査の平均とします。 80点以上「優」, 60点以上～80点未満「良」, 50点以上～60点未満「可」, 50点未満「不可」 ■教員所在場所 本館2階 入試部2 ■授業評価アンケート実施方法 10月にアンケート用紙を配布します。 ■メールアドレス shigemura@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 月曜日の12時15分～13時00分

科目名: 倫理 b		英文名: Ethics b	
担当者: 重村博美			
工学科: 総合システム	学年: 3	コース: 全	開講期: 後期
科目種別: 必修	単位数: 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 環境を考える 第 2週 環境を考える 第 3週 伝統の継承と発展 第 4週 地球社会のなかのなかまたち 第 5週 人類と福祉 第 6週 古代・中世の人間観の歴史 第 7週 古代・中世の人間観の歴史 第 8週 中間試験 第 9週 答案返却・解答 第10週 古代・中世の人間観の歴史 第11週 現代社会とキリスト教、イスラム教 第12週 東洋の人間観の歴史 第13週 世界とつながる日本の思想 第14週 期末試験 第15週 答案返却・解答	■授業内容・方法など 自己や現代の倫理的課題を主体的に追求し、人間としてのあり方・生き方についての理解と思索を深め、生きる主体としての豊かな自己形成をはかることができるようになるため、先人の知恵を学びます。また、倫理観の欠如が叫ばれる現代社会において、人間の本質とは何かを考えて行きます。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者はこの授業を履修することによって、 1.(B-G1)人格の形成に努める実践的な意欲を高める。 2.(B-G2)生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる。 ことができるようになります。 ■教科書『新倫理－自己をみつめて－』(教育出版) ■参考文献 なし ■関連科目 地理・日本史・政治経済・世界史 ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(年2回), 方式:記述式 定期考査成績:定期試験(100%)で評価します。 最終成績:2回の定期考査の平均とします。 80点以上「優」, 60点以上～80点未満「良」, 50点以上～60点未満「可」, 50点未満「不可」 ■教員所在場所 本館2階 入試部2 ■授業評価方法 2月にアンケート用紙を配布します。 ■メールアドレス shigemura@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 月曜日の12時15分～13時00分

科目名: 保健体育3a		英文名: Health and physical education 3a	
担当者: 三好紀孝、高原宏秀、松尾大介、須山雅俊、福島伸一			
工学科: 総合システム	学年: 3	コース: 全	開講期: 前期
科目種別: 必修	単位数: 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 ストレッチ体操の基本と体つくり運動 第 2週 保健・体育理論 Ⅰ－1 スポーツ障害 第 3週 球技・基本技術の向上(バスケットボールⅠ) 第 4週 球技・戦術的能力の向上(バスケットボールⅡ) 第 5週 保健・体育理論 Ⅰ－2 スポーツトレーニングについて 第 6週 球技・基本技術の向上(バトミントンⅠ) 第 7週 球技・戦術的能力の向上(バトミントンⅡ) 第 8週 球技・基本技術の向上(サッカーⅠ) 第 9週 球技・戦術的能力の向上(サッカーⅡ) 第10週 保健・体育理論 Ⅱ－1 文化としてのスポーツについて 第11週 球技・基本技術の向上(ソフトボールⅠ) 第12週 球技・戦術的能力の向上(ソフトボールⅡ) 第13週 試験・新体力テスト 第14週 期末試験(筆記) 第15週 答案返却・解答	■授業概要・方法等 少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為に行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理す為の基本知識を養う事を目標とします。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって 1. (C-G2)(D-G2)自分で健康を管理する為の基本的知識を身に付ける。 2. (D-G2)集団行動を通じて協調性を養う。 3. (D-G2)多種多様なスポーツの基本的ルールを学び、参加する楽しさを覚える。 ことができるようになります。 ■教科書 「保健体育概論(増補版)」近畿地区高等専門学校体育研究会編 「最新スポーツルール」(大修館) ■参考文献 なし ■関連科目 保健・健康科学 ■成績評価基準 種類: 定期試験(1回) 方式: 記述式 体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方から評価します。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性及び課題評価(40%)と前期に行なう定期考査(20%)によって 総合的に評価します。 80点以上「優」, 60点以上～80点未満「良」, 50点以上～60点未満「可」, 50点未満「不可」 ■教員所在場所 三好紀孝 : 本館棟1階学生部及び3号館1階体育科教員室 ■授業評価アンケート実施 9月にアンケート用紙を配布します。 ■メールアドレス miyoshi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 月曜日及び水・木曜日6限以降

科目名: 保健体育3b		英文名: Health and physical education 3b	
担当者: 三好紀孝、高原宏秀、松尾大介、須山雅俊、福島伸一			
工学科: 総合システム	学年: 3	コース: 全	開講期: 後期
科目種別: 必修	単位数: 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 保健・体育理論 Ⅲ－1現代社会における健康について 第 2週 球技・レクリエーションスポーツ(テニス) 第 3週 球技・レクリエーションスポーツ(バレーボール) 第 4週 球技・レクリエーションスポーツ(卓球) 第 5週 球技・レクリエーションスポーツ(ソフトテニス) 第 6週 保健・体育理論 Ⅲ－2 疾病とその予防について 第 7週 陸上競技・マラソン 第 8週 陸上競技・マラソン 第 9週 陸上競技・マラソン 第10週 陸上競技・マラソン 第11週 保健・体育理論 Ⅳ－1－2－3 生涯スポーツと健康 第12週 陸上競技・マラソン計測 第13週 試験 新体力テスト 第14週 期末試験 第15週 答案返却・解答	■授業概要・方法等 少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為に行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理す為の基本知識を養う事を目標とします。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって 1. (C-G2)(D-G2)自分で健康を管理する為の基本的知識を身に付ける。 2. (D-G2)集団行動を通じて協調性を養う。 3. (D-G2)多種多様なスポーツの基本的ルールを学び、参加する楽しさを覚える。 ことができるようになります。 ■教科書 「保健体育概論(増補版)」近畿地区高等専門学校体育研究会編 「最新スポーツルール」(大修館) ■参考文献 なし ■関連科目 保健・健康科学 ■成績評価基準 種類: 定期試験(1回) 方式: 記述式 体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方から評価します。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性及び課題評価(40%)と後期に行なう定期考査(20%)によって 総合的に評価します。 80点以上「優」, 60点以上～80点未満「良」, 50点以上～60点未満「可」, 50点未満「不可」 ■教員所在場所 三好紀孝 : 本館棟1階学生部及び3号館1階体育科教員室 ■授業評価アンケート実施 2月にアンケート用紙を配布します。 ■メールアドレス miyoshi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 月曜日及び水・木曜日6限以降

科目名: ドイツ語Ⅰa		英文名: German Language Ia	
担当者: 石田香織			
工学科: 総合システム	学年: 3	コース: 全	開講期: 前期
科目種別: 選択	単位数: 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 ガイダンス・発音 第 2週 動詞の現在人称変化 第 3週 主語となる人称代名詞 第 4週 命令形 第 5週 名詞の変化 第 6週 前置詞の格支配 第 7週 接続詞と副文 第 8週 形容詞の格支配 名詞化 第 9週 形容詞の比較 第10週 動詞の3基本形 第11週 過去人称変化 第12週 完了と未来 第13週 完了と未来 第14週 期末試験 第15週 試験返却	■授業概要・方法 第二外国語を学びたい学生ならびに大学編入をめざす学生を対象とします。ドイツ語初級の文法、読本スキルを取得します。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって 1.(B-G2)ドイツ語の発音やスペルを身につける。 2.(C-G1)ドイツ語の入門文法や文章を理解する。 ことができるようになります。 ■教科書 Deutsche Grammatik Smart ikubundo ■参考文献 新キャンパス独和辞典 在間 進 3000円＋税 ■関連科目 ドイツ語Ⅱ ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(1回)(100%)で評価します。 最終成績:定期考査成績とします。 80点以上「優」, 60点以上～80点未満「良」, 50点以上～60点未満「可」, 50点未満「不可」 ■授業評価アンケート実施方法 10月にアンケート用紙を配布します。 ■メールアドレス kishida@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 土曜日12:15～13:00 ■教員所在場所 2号館2階 共通教育教員室

科目名: ドイツ語Ⅰb		英文名: German Language Ib	
担当者: 石田香織			
工学科: 総合システム	学年: 3	コース: 全	開講期: 後期
科目種別: 選択	単位数: 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 話法の助動詞 第 2週 話法の助動詞 第 3週 不定詞・分離動詞 第 4週 不定詞・分離動詞 第 5週 再帰代名詞 再帰動詞 第 6週 再帰代名詞 再帰動詞 第 7週 疑問代名詞 不定代名詞 第 8週 分詞 序数 第 9週 関係代名詞 第10週 指示代名詞 第11週 受動 第12週 受動 第13週 接続法 第14週 期末試験 第15週 試験返却	■授業概要・方法 第二外国語を学びたい学生ならびに大学編入をめざす学生を対象とします。ドイツ語初級の文法、読本スキルを取得します。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって 1.(B-G2)基礎ドイツ語な文法をマスターし、読める書ける。 2.(C-G1)ドイツ語圏の文化を、少しでも言語を通じて理解する。 ことができるようになります。 ■教科書 Deutsche Grammatik Smart ikubundo ■参考文献 新キャンパス独和辞典 在間 進 3000円＋税 ■関連科目 ドイツ語Ⅱ ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(1回)(100%)で評価します。 最終成績:定期考査成績とします。 80点以上「優」, 60点以上～80点未満「良」, 50点以上～60点未満「可」, 50点未満「不可」 ■授業評価アンケート実施方法 2月にアンケート用紙を配布します。 ■メールアドレス kishida@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 土曜日12:15～13:00 ■教員所在場所 2号館2階 共通教育教員室